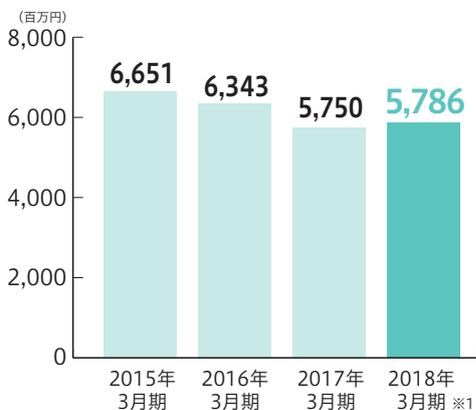


## ◆ 損益の状況

## コア業務純益

コア業務純益は、資金利益の増加や経費の減少などから、前年比35百万円増加し、57億86百万円となりました。

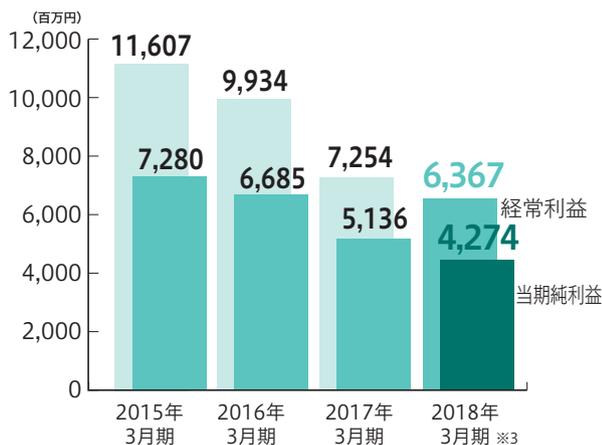


## 用語解説 ⇒【コア業務純益】

預金、貸出金、有価証券など銀行の本業による利益である「業務純益」から、特殊要因で大きく変動する「債券関係損益」、「金融派生商品損益（債券関係）」および「一般貸倒引当金繰入額」を除いたもので、銀行本来の収益力を表す指標です。

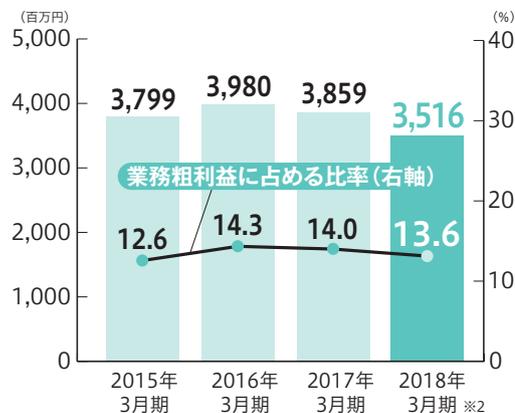
## 経常利益・当期純利益

経常利益は、コア業務純益や臨時損益が増加した一方、債券関係損益等のその他業務利益の減少などから、前年比8億87百万円減少し、63億67百万円となりました。また、当期純利益は、同8億61百万円減少し、42億74百万円となりました。



## 役務取引等利益

役務取引等利益は、法人向けサービスの提供による手数料収入が増加したものの、支払保証料等の役務費用が増加したことなどから、前年比3億42百万円減少し、35億16百万円となりました。



## 経費・コア OHR

経費は必要な投資を行う一方で全般的な経費削減に取り組んだ結果、前年比98百万円減少し、206億43百万円となりました。また、コア OHR は、前年比0.2 ポイント良化し、78.1%となりました。



## 用語解説 ⇒【コア OHR】

「コア業務粗利益」に対する「経費」の割合を示しており、経営効率を図る代表的指標です。

※1・※2・※3・※4 計数は単位未満を切り捨てて表示しております。

## ◆ 経営の安定性

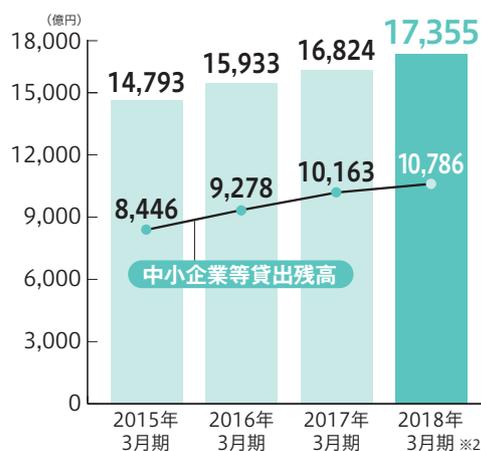
### 総預金(末残)

総預金(預金ならびに譲渡性預金)は、お客さまの多様なニーズにお応えする商品の提供に努めてまいりました結果、期末残高は前年比248億円増加の2兆3,272億円となりました。



### 貸出金(末残)

貸出金は、中小企業および個人向貸出で構成される中小企業等貸出残高が前年比623億円増加したことなどから、期末残高は前年比530億円増加の1兆7,355億円となりました。



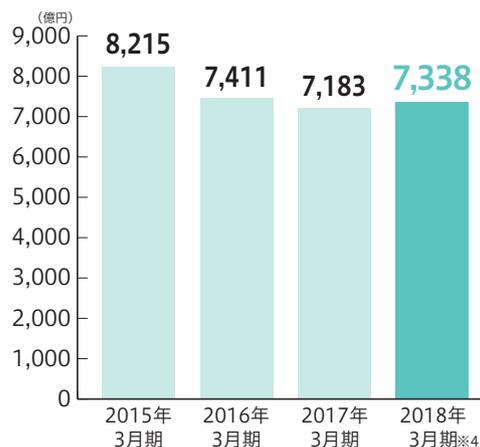
### 預かり金融資産(末残)

預かり金融資産は、生命保険の販売が堅調に推移したことから、全体では前年比105億円増加しました。



### 有価証券(末残)

有価証券は、国内外への投資環境や市場動向に留意しながら、国債への再投資を抑制する一方、収益が見込まれる他の資産への投資を進めた結果、前年比154億円増加しました。



※1・※2・※3・※4 計数は単位未満を切り捨てて表示しております。

## ◆ 健全経営の指標

### 自己資本比率(国内基準)

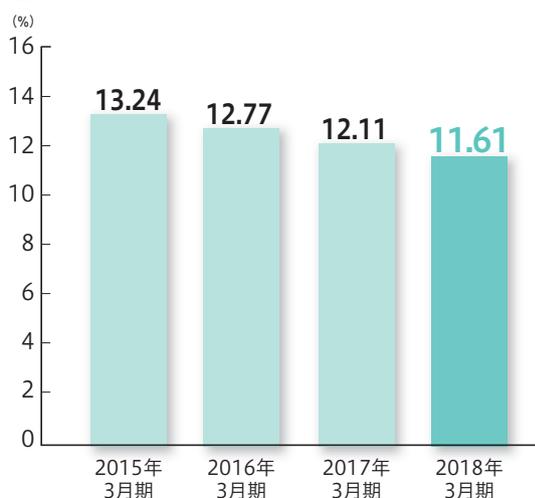
算出上の分子となる自己資本の額は1,330億円、分母となるリスク・アセット等は11,890億円となりました。

この結果、自己資本比率は単体11.19%、連結11.61%となり、引き続き良好な水準を維持しております。

#### ● 単体



#### ● 連結



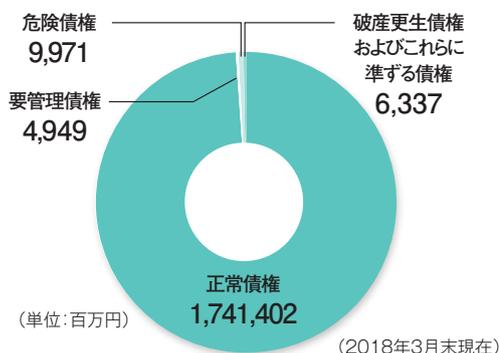
### 資産健全化への取り組み

#### 金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権額は、厳格な基準に基づいた自己査定を実施するとともに、引き続きお取引先の経営改善支援に注力いたしました結果、期末残高は212億円となりました。

総与信に占める不良債権比率は、前年比0.11ポイント上昇の1.20%となりましたが、引き続き良好な水準を維持しております。

#### ● 金融再生法開示債権の状況(単体)



#### ● 不良債権比率の推移等(単体)



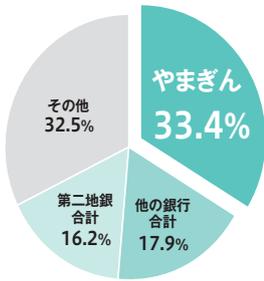
#### 用語解説 ⇒【自己資本比率】

銀行の健全性を表す代表的な指標であり、国内基準では自己資本比率4%以上を維持することが求められております。

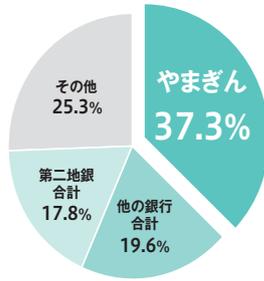
## 山形県内シェア

当期末の預金シェアは33.4%、また、貸出金シェアにおいても37.3%となっており、引き続き県内トップシェアを維持しております。

### ● 預金シェア



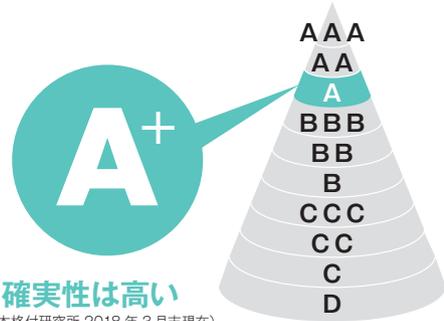
### ● 貸出金シェア



(注)2018年3月末、ゆうちょ銀行、政策金融機関を除く

## 格付け

〈やまぎん〉は「A<sup>+</sup>」の高い評価を受けております。



### 債務履行の確実性は高い

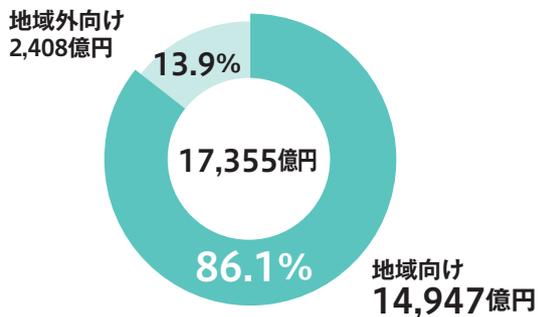
(格付機関：株式会社日本格付研究所 2018年3月末現在)

### 用語解説 ⇒【格付け】

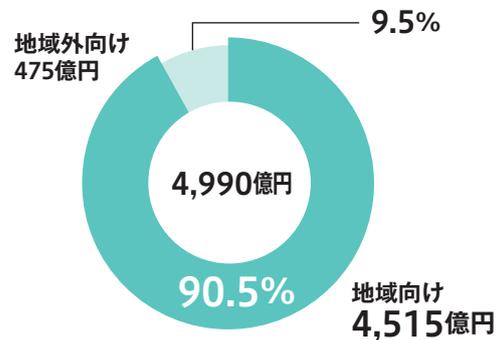
企業などが発行する債券等の元金支払いの安全度を公正な第三者機関が客観的に評価し、簡単な記号で表したものです。銀行の場合、預金の元本と利息が確実に支払われるかどうかを表しており、銀行の信用度や安全性を示す代表的な指標としても使われております。

## 地域における預金・貸出金の状況

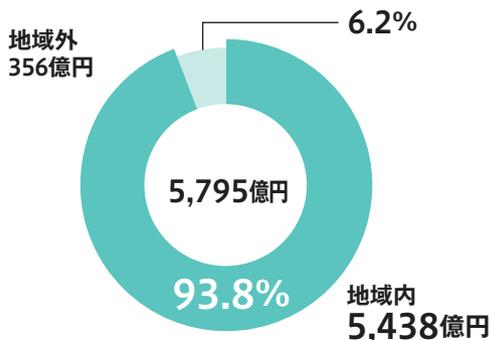
### ● 地域向け貸出金残高・比率



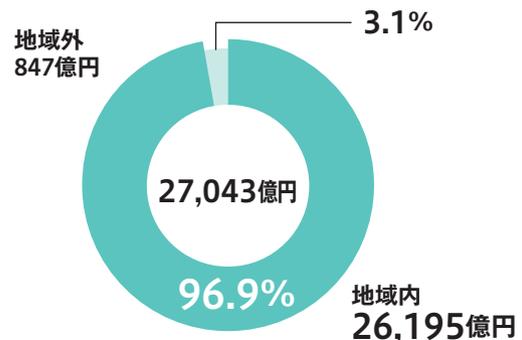
### ● 地域の中小企業向け貸出金残高・比率



### ● 地域の個人向け貸出金残高・比率



### ● 地域の総預金・預かり資産残高・比率



※計数は単位未満を切り捨てて表示しております。  
※営業基盤とする「地域」とは、山形県内および仙台地区としております。

(2018年3月末現在)